

青函トンネル内における電車線のメンテナンス

青函トンネル内の電車線は、建設時から新幹線規格で設備されており、昭和63年3月の青函トンネル開業から、平成28年3月の北海道新幹線開業を経て、これまで使用されてきています。

新幹線開業後は高速走行を考慮した電車線のメンテナンスを行う必要があり、平成29年度より初回となる取替工事を進めてきました。

本年度からは、新幹線及び貨物列車の運休による作業時間を拡大する日を設定し、更新時期にすべての電車線取替えを完了するよう、取替工事を平準化し計画的に進めています。

○青函トンネル内の電車線取替進捗状況(2019.8時点)

全数量[本]	取替済数量[本]	進捗率	年度別実績	H29	H30	R元
252	19	7%	取替数量[本]	2	5	12
			工事費[百万円]	27	90	173

注) 電車線1本あたりの通常の長さは約1,500m

○電車線取替に使用している特殊作業車



【 新幹線架線延線・巻取車 】

2両保有（車両価格 約2.5億円/両）



【 多機能保全車 】

4両保有（車両価格 約1億円/両）